

ダイカネット15

最高の安全性を誇る水平ネット。
作業者の墜転落防止や小物の落下を防ぎます。



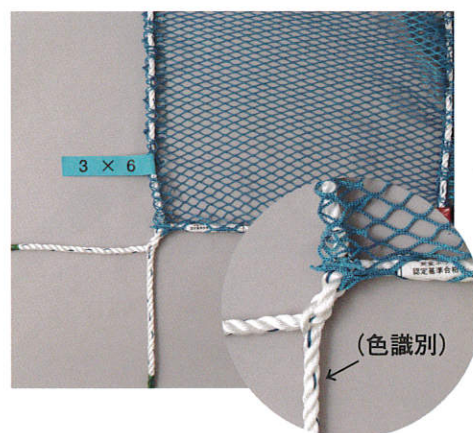
特 長

1.安全性

網目の大きさが15mm目と小さいため、作業者の墜転落防止はもちろん、ボルト・小物等の落下による危険防止にも役立ち、高い安全性を有しています。

2.寸法安定性

寸法安定性に優れているため、張り手間の苦労が少なく、楽に取り付けが出来ます。



規 格

項目	ダイカネット15 (DSK-ER-15)
材質	東レテロン
網地・種類	ラッセル
網地・規格	2.5mm 280T/48
網地・目合	15mm×15mm
結節・強度	0.40kN以上(平均値)
縁綱・径	10mm
縁綱・強度	14.7kN以上
色	ブルー 他

寸 法 (m)

サイズ	色識別
0.5 × 6	レッド
1 × 6	ピンク
2 × 6	グリーン
3 × 6	ブルー
4 × 6	ブラウン
5 × 5	ブラック

サイズ	色識別
5 × 10	ピンク
6 × 6	レッド
7 × 7	グリーン
8 × 8	オレンジ
10 × 10	ブルー

※特注サイズ製作致します。

工事現場の安全を守るダイカネット15

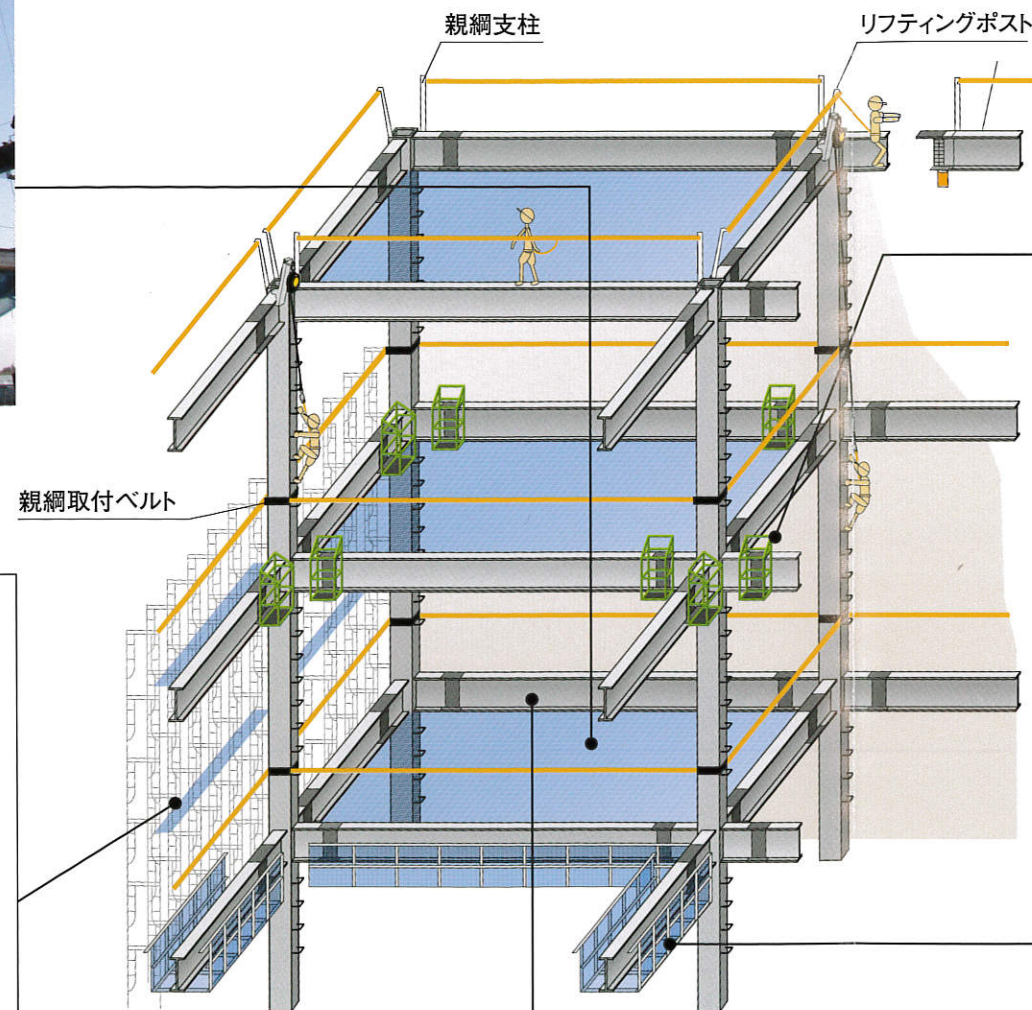
工事現場における墜転落事故は、重大かつ発生率が高い事故です。ダイカネット15は、作業者の墜転落防止や小物等の落下を防ぎ、現場の安全を守ります。取り付け作業も容易に出来るため、作業時の効率・安全性も高まります。

ダイカネット15使用例



水平ネット

鉄骨組立時の墜転落を防止します。



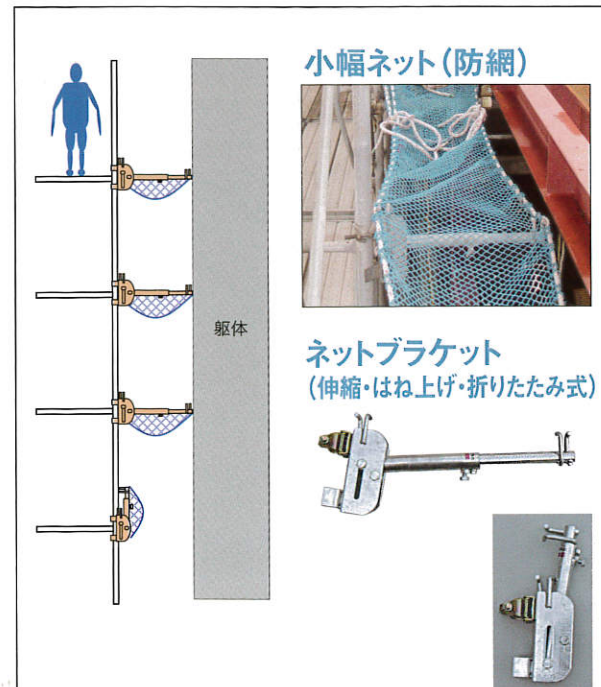
トピック使用時

トピック使用時も、トピックの下を通してネットを張ることで安全を保てます。

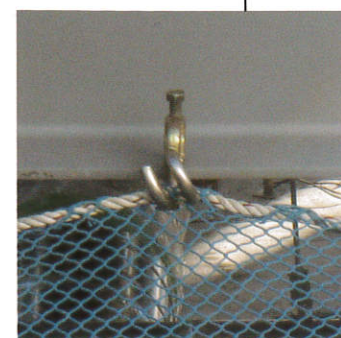


橋梁使用時

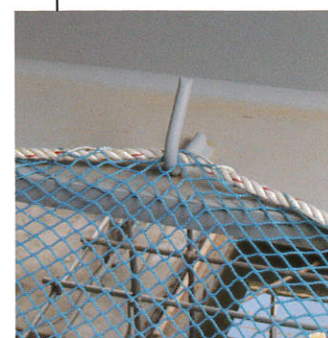
耐久性に優れているため、橋梁などの長期工事にも安心してご利用いただけます。



足場と躯体の間のネット(防網)は全層必要です。
許容落下高さは1.025m以下です。
 $H1 \leq 0.25 \times (L + 2A)$



ネット吊クランプ(使用例)



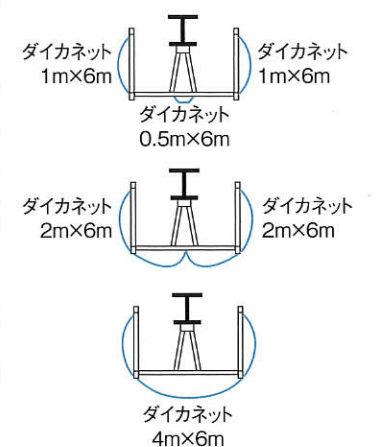
ネット吊ピース(使用例)



ハイステージ使用時

ハイステージの手すり間や足場板の隙間からの墜転落を防止します。

ハイステージ部詳細図



付属商品



ネット吊クランプ

- フックタイプなので、ネットの取り付け、取り外しはワンタッチです。
- フックは、ネットの抜けを防止するD型です。
- 締め付けボルトは、鉄骨にしっかり固定できる窪み先ボルトを使用しています。



ジョイントロープ

- 水平ネット取り付け用
- 1束 150本
- 太さ3mm

1 | 適 用

この基準は、安全ネットを使用又は管理する際の指針である。

2 | 定 義

この基準に用いる用語は、次のように定義する。

【単体ネット】

1枚のネットをいう。

【複合ネット】

複数のネットをつなぎ合わせたネットをいう。

【ネットの支持点、支持面】

ネットを取り付ける点を支持点といい、支持点を連ねる面を支持面という。

【ネットの垂れ】

ネットを取り付けた際の網地の最低部からネットの支持面までの垂直距離をいう。(S 単位m)

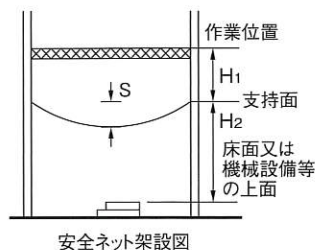
【落下高さ】

墜落のおそれのある作業床等から支持面までの垂直距離をいう。(H₁ 単位m)

【ネット下部のあき】

ネットの下方における衝突のおそれのある床面又は機械設備から支持面までの垂直距離をいう。

(H₂ 単位m)



3 | 落下高、ネットの垂れ及び下部のあき

1. 安全ネットの落下高H₁は、次式により求められる値とする。

$$H_1 \leq 0.25 \times (L + 2A) \text{ (単体ネット)} \dots\dots\dots (1)$$

$$H_1 \leq 0.20 \times (L + 2A) \text{ (複合ネット)} \dots\dots\dots (2)$$

L: 単体ネット及び複合ネットの辺長又は短辺長(単位m)

A: 安全ネットの支持間隔(単位m)

ただし、A ≤ Lの範囲では、A = Lとする。

2. ネットの垂れSは、次式により求められる値とする。

$$S \leq 0.2 \times (L + 2A) / 3$$

ただし、A ≤ Lの範囲では、A = Lとする。

3. ネット下部のあきH₂は、次式により求められる値とする。

$$H_2 \geq 0.85 \times (L + 3A) / 4$$

ただし、A ≤ Lの範囲では、A = Lとする。

1、2及び3における各式中のLは、正方形の単体ネットの場合はその一辺の長さをいい、長方形の単体ネットの場合はその短辺の長さをいう。また、複合ネットの場合のLは、複合された形状における一辺の長さ又は短辺の長さをいう。

Aは安全ネットの支持間隔であって、長方形の単体ネット及び複合ネットの場合は、長辺側における支持間隔をいう。

(1) 及び (2) 式は、人間が墜落阻止された場合、人体にかかる減速度が性能値の147m/s²以下におさまるようにしてきめた式である。

ご使用上の注意

- 安全ネットを本来の目的以外の用途にて使用しないで下さい。
- ネット周辺のあきは15cm～20cm以内となるように取り付けして下さい。
- 安全ネット取り付けにあたっては全ての吊綱を必ず用いて下さい。
- 安全ネットどうしを複合する際は、それぞれの縁綱を30cm以下の間隔で強固に結合して下さい。
- 人体又は人体相当の落下体による衝撃を受けたものや火花等により損傷したものは正常なものと取替えて下さい。
- 溶接・溶断作業等で火花を受ける場所にてご使用の際は、火花受けシートで養生して下さい。

作業現場の状況により使用規格・方法が異なりますので、詳しくは上記使用基準及び(一社)仮設工業会の「安全ネットの構造等に関する安全基準と解説」を参考にご検討の上ご使用下さい。

※その他、不明な点はお気軽にお問い合わせ下さい。

◎認定合格証

